

高等学校学習指導要領における世界史科目の改訂の方向性として考えられる構成（たたき台）

現行世界史B科目

(1)世界史への扉

移行

(2)諸地域世界の形成

ア 西アジア世界・地中海世界
イ 南アジア世界・東南アジア世界
ウ 東アジア世界・内陸アジア世界
エ 時間軸からみる諸地域世界

(3)諸地域世界の交流と再編

ア イスラーム世界の形成と拡大
イ ヨーロッパ世界の形成と展開
ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界
エ 空間軸からみる諸地域世界

(4)諸地域世界の結合と変容

ア アジア諸地域の繁栄と日本
イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界
ウ 産業社会と国民国家の形成
エ 世界市場の形成と日本
オ 資料からよみとく歴史の世界

(5)地球世界の到来

ア 帝国主義と社会の変容
イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現
ウ 米ソ冷戦と第三世界
エ グローバル化した世界と日本
オ 資料活用して探究する地球世界の課題

資質・能力

○諸地域世界の歴史に関わる諸事象についての知識や、諸地域世界の歴史の大きな枠組みと展開の考察に関わる概念の理解

○諸資料を収集する、読み取る、まとめる技能

新必修科目で習得した「歴史の学び方」を活用し、追究、探究を深める科目

○諸地域世界の歴史の多様性や複合性、相互依存性や多元性に着目して考察し、選択や判断について構想する力

○持続可能な社会づくりに向けて、広い視野に立って、世界や日本の在り方を意欲的に探究しようとする態度など

新必修科目「歴史総合(仮称)」

●現代な諸課題の背景にある歴史を、近現代の歴史の転換に着目して考察する。●単元の基軸となる問いを設け、諸資料を適切に活用し、歴史的な見方や考え方をを用いて追究する「歴史の学び方」を身に付ける。

世界史に関する探究科目(仮称)

○諸地域世界の歴史的特質

地球環境、文明、都市、信仰、港市、奴隷制、カースト制度、華夷秩序...等

→諸地域世界の歴史の多様性を把握

多様性
地域性豊かな諸文明の形成

取り上げることが考えられる題材

○諸地域世界の接触と交流

冊封・朝貢、聖と俗、イスラーム・ネットワーク、スーフイズム...等

→複合性を強める諸地域世界の特質を理解

複合性
接触と交流による文化の融合

○諸地域世界の結合と変容

環大西洋革命、征服王朝、アジアの開化、啓蒙思想...等

→相互依存性を高め一体化に向かう現代世界の特質を追究

相互依存性
結び付きを強める世界

○地球世界の到来

宥和政策、人民戦線、新植民地主義、人間の安全保障...等

→長期的視野から学習課題を設定し探究

多元性
多くの要素から成り立つ社会・世界

<参考>

- ・「歴史総合(仮称)」で習得した「歴史の学び方」を活用し、広い視野に立って深く考察する科目とする。
- ・前近現代では、近現代につながる諸地域世界の文化の多様性、複合性を、時間軸(タテ)と空間軸(ヨコ)の変化に着目して理解する。
- ・近現代では、諸地域世界の歴史の相互依存性や多元性に着目して、諸資料を活用し、「歴史総合(仮称)」で扱わなかった概念を習得するとともに、考察し表現する学習を通して、現代世界の特質を多面的・多角的に広く深く追究、探究する。